【投薬】

708 術後化学療法としてのカペシタビン(HER2陰性早期乳癌の患者) の算定について

《令和7年10月31日》

〇 取扱い

HER2陰性早期乳癌に対する術後化学療法としてのカペシタビン(ゼローダ錠等)の算定は、原則として認められない。

〇 取扱いを作成した根拠等

乳癌診療ガイドライン (2022 年版) では、CREATE-X試験を基にしたカペシタビンの投与は「強く推奨」されているが、当該医薬品の添付文書に示されている乳癌に対する「効能又は効果」は「手術不能又は再発乳癌」である。以上のことから、HER2陰性早期乳癌に対する術後化学療法としてのカペシタビン (ゼローダ錠等) の算定は、原則として認められないと判断した。